

美と祈り 近現代日本美術に見るキリスト教



ミュージアムコンサート ～歴史からみる音楽と祈り～

2026年1月24日 (土) 14時開演 (13時30分開場)

岡山県立美術館ホール (定員・先着200名)

展覧会の観覧券で入場可 (半券可)

・当日一般 1500円 ・当日65歳以上 1300円
・当日大学生 500円 ・高校生以下 無料

【プログラム】

- ♪ビーバー 「パッサカリア」 (ヴァイオリン独奏)
- ♪バッハ 「オーボエ・ダ・モーレ協奏曲」
- ♪バッハ 「主よ、人の望みの喜びよ」 (ピアノ独奏)
- ♪ドヴォルザーク 「ソナチネ」 (ヴァイオリン、ピアノ)
- ♪野口雨情／中山晋平 「シャボン玉とんだ」
- ♪仲村渠 悠子 「祈り・宮古島古謡“旅榮いぬあやぐ“より」
- ♪ハース 「組曲」 (オーボエ、ピアノ)
- ♪ペルト 「鏡の中の鏡」 (ヴァイオリン、ピアノ) 他

【出演】

仁熊 美鈴 (Misuzu NIGUMA) ヴァイオリン
上月 真子 (Masako KOZUKI) オーボエ、オーボエ・ダ・モーレ
仲村渠 悠子 (Yuko NAKANDAKARI) ピアノ



ミュージアムコンサート～歴史から見る祈りと音楽～

人々の生活と祈りは密接に繋がっています。
そして、祈りの場にはいつも音楽がありました。

教会で祈り、神との対話と音楽で讃える。近しい人を思っての祈りと音楽。
そして神の不在。どの時代でも生きている人の数だけ「祈り」がありました。

その時々で、祈りをテーマとした作曲家たちはどのような音楽を作ってきたのでしょうか。今回は、演奏者である私たちが、それぞれに思う「祈りと音楽」を時代ごとに集めてみました。皆様にとっての「祈り」はなんでしょうか。

仁熊美鈴(**Misuzu NIGUMA**) 岡山県岡山市出身。

5歳よりヴァイオリンを始める。岡山県立岡山城東高等学校、愛知県立芸術大学を卒業。2013年に渡独。

ケルン音楽大学大学院修士課程、並びにOrchester Zentrum NRWを修了。

ドルトムント管弦楽団プロジェクト研修生、アーヘン交響楽団研修生、ハーゲン管弦楽団第二ヴァイオリン奏者を経て、現在は出身地である岡山を拠点に演奏活動を行う傍ら、後進の指導にあたっている。

岡山フィルハーモニック管弦楽団団員。わたしたちの室内楽メンバー。



上月真子(**Masako KOZUKI**) 岡山県倉敷市出身。

愛知県立芸術大学音楽学部管打楽器科を経て渡独。国立デトモルト音楽大学にてディプロム、オーケストラコース、室内楽コース修了。ベルギッシュ交響楽団オーボエ奏者、デトモルト室内オーケストラ首席オーボエ奏者、デトモルト音楽大学非常勤講師などを経て2019年に帰国。倉敷にアトリエを開き、オーボエリード製作販売も行っている。備中ダブルリード所属。これまでにオーボエを吉田容子、有道惇、小畠善昭、ゲルノット・シュマルフス、ヨーゼフ・キシュの各氏に師事。



仲村渠 悠子(**Yuko NAKANDAKARI**) 沖縄県出身。

幼少期よりピアノをはじめ、即興演奏を得意とする。桐朋学園女子高等学校音楽部ピアノ科、同大学、同研究科を最高点にて修了。デトモルト音楽大学首席卒業、ドイツ国家演奏家資格取得。

2009年よりデトモルト音楽大学講師(コレペティトア)として勤務後、2015年沖縄帰国。

2022年よりショパン全曲演奏会をスタートした。現在、沖縄県立芸術大学非常勤講師。日本歌唱芸術協会事務局長。これまで、日比谷友妃子、高良芳枝、ミハイル・ボスクレセンスキ、ジャン・エッフラム・バブゼ、アナトール・ウゴルスキの各氏に師事。

交通案内

※可能な限り公共交通機関をご利用ください。

JR岡山駅後楽園口(東口)から 徒歩 | 15分
路面電車 | 岡山駅前電停1番乗り場 東山行「城下」下車徒歩3分
岡電バス | 1番乗り場 藤原団地行「天神町」下車すぐ
宇野バス | 11番乗り場 四御神、瀬戸駅、片上方面行「表町入口」下車徒歩3分



岡山県立美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町8-48
TEL | 086-225-4800 FAX | 086-224-0648
Email | kenbi@pref.okayama.lg.jp
<https://okayama-kenbi.info>

